

D X 人材育成研修の概要

(1) 菊陽町 D X 人材育成方針の概要

社会全体に対するデジタル化の要請や情報通信技術（ICT）を取り巻く様々な環境変化に伴う町民ニーズに的確に対応していくことは、喫緊の課題



D X 人材育成方針を策定し、次のような職員像を目指す

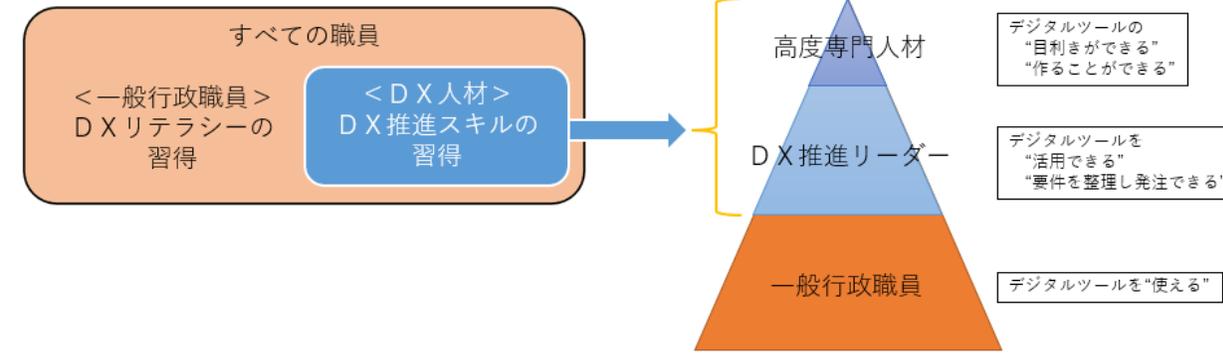
- ① 全職員が自治体 D X に関する基本的な知識を有する。
- ② 各課において ICT を活用した業務・サービスを企画し、簡易なものについては内製し、情報部門の協力を得ながら自ら D X を推進できる。
- ③ 情報担当部署は、ICT に関する専門的な知識を有し、大規模プロジェクトをはじめ各部署における D X の推進を支援できる。



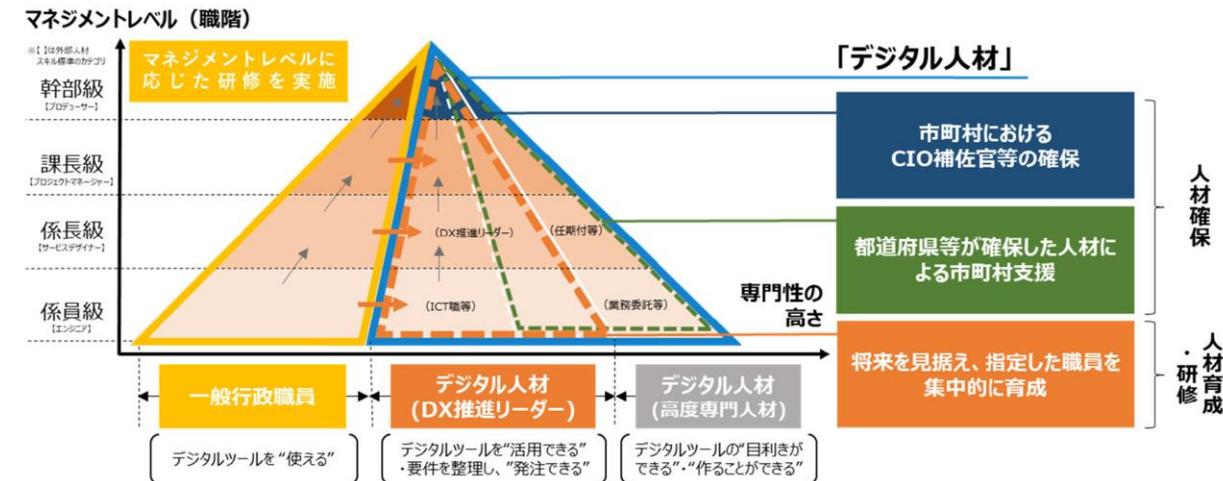
D X 人材の育成方法

- ① 集合研修やオンライン講座などで、D X リテラシーを習得
- ② D X 推進リーダーについては、自薦や指名により、高度な研修を行い、IT パスポートを取得
- ③ 高度専門人材については、D X 推進リーダーの中からさらなる養成を図るとともに、外部人材の登用も選択肢の一つ

本町が目指す D X 人材を、次のように分類する。



【市町村におけるデジタル人材確保・育成の全体像】



出典：自治体 D X 全体手順書【第2.1版】令和5年1月総務省

D X 人材育成研修の概要

(2) 菊陽町 D X 人材育成プログラムに基づく研修の実施

菊陽町 D X 人材育成プログラム

- 一般行政職員に必要なスキル
- D X 推進リーダーに必要なスキル を定める



1月19日から研修プログラムを展開

コース別科目分野

Aコース	Bコース
ICT基礎・DX基礎(1/19)	BPR実践(2/2)
EBPM基礎・BPR基礎(1/22)	システム開発・管理(2/8)
システム企画 (1/30)	デザイン思考(2/16)
ネットワーク基礎・セキュリティ基礎(2/5)	AIの活用(2/19)
プログラミング的思考 (2/6)	データ活用とツールの利用 (2/22)

Aコース・Bコース共通

- 全職員対象
- 興味のあるコマを受講可能
- 受講履歴は来年度以降に持ち越し可能

Aコースの概要

- 基礎的な内容
- D X 時代における業務に対する思考力の向上が狙い

Bコースの概要 (ITパスポート受験者優先)

- やや発展的な内容
- D X 時代における業務に対する実践力の向上が狙い

D X 推進リーダーの認定条件

- Aコースから3コマ以上、Bコースから3コマ以上、合計7コマ以上を受講
- ITパスポートを取得

※D X 推進リーダーには、各課におけるD X の実践や、D F 推進本部専門部会 (W G) への出席、デジ田交付金事業の企画等への積極的関与を行ってもらう予定。

D X 時代における本格的な人材育成を実施